

(1) 平成 2 年 12 月 15 日 土曜日

宗

と仰せられてある。私も耳で聞いて直ちに「遵守」の語に注意を惹かれたが、解説者もまた、「即位後朝人の儀」において、陛下が「日本国憲法を守り」という表現を探してみたこととの異同を指摘した。

御 践祚の直後のお言葉をや
ない表現で繰返された。そしてこれには憲
いる国の元首として当
り、昭和天皇が大日本天皇に即位に即かれ以來、
即位では過ぎるほど意味では遵守せられて来た、それが繼承が
それ以上でも以下で結構なものである。
それで結構なものである。

「解説の余地の
まご」のことである。
君主制を採つて
自然の御救援であ
帝國憲法の下で、
常に嚴格に、或
るに忠実に憲法を
の御精神を精確
との御表明であ
てもない。且つ

はない。この御大禮が事務である以上、國民を代表する宰相としてこの儀式の奉行に責任を有して参加しているのである。その太役を担つた人が、昭和三年の田中義一首相の先例があるにも拘らず、儀式の場を支配している礼法の意味を悟ることはできず、恬然としてそれに背いたのである。この人はたぶん國際社会の外交の場を律する儀礼的な慣習にも無感覺であろう。そして政治的以前に、國際的儀礼の面での失

国民代表として、奉祝の萬歳の発声を受持つといふのならば、同じく国民の代表として式場に在る人々並びに賓客の方々と同様に位置といふことで、せめて廊下のところまで退いて、そこで音頭を取るべきではないか。これもはやり礼の心を知らぬことからくる不体裁である。

この場合にも、解説者達が、国民主権的新憲法下での式典だからこれまでの「だ」という説明を加えてゐる。聞くと、国民主權を加えてゐる事民権という語が、全く誤解されたままに「一種の魔語となつて國民を惑わせている現状に

あればこそ、國家と國民の現実、
する様に改訂・是正して行かなくな
ならないのだが、マスメディアもあ
し運用する立場の人々は自分達のめ
たこの重大な責任をいつたい自當
いるのであるうか。

（より）
無事に
見して
育貢の
省に立つて、初めて
は成立する。
五百年前、当社
に石製人形、馬形が
されている。罪・穢れ
の形代は、其の後木
紙へと替り、赤と白
となつた。大祓式は
落ちる午後五時、古
り祓行される。延喜
そくは國家社会を
儀式であつた。と
より、中東世界
をも祓い清めたい。

祓えが 沖津宮 献げら を託す 材から の人形 夕陽の 式に則 も解除 の昔か はも 内はも の国々 赤え えと 昨夜 役員 白苔 來て 一章 えと うり りけん うじゆう うじゆう うじゆう うじゆう

池田小
ちなびく孟宗竹
午後一時頃の晴
る
吉留白
夜降りし雨に涼
て農業祭に野菜
東郷藤
蓑束に散策の夫
員と見て人ら辞
吉留高
人と徹夜せし師

冠雪は霞みておぼろ
峰かけて霧立昇る岩木山初
田 久 立花 雄
手術日を告げられて帰り来
し庭に木犀の花ひとり見て
竹つ
池 田 小田 立しめの
川嶺の山ひだ影のありあり
夏の陽はいま沈まんとす湯
名古屋 小田 喜一
過ぎて日を人恋しげに語り
くる翁の胸の鍵が化しき



大嘗祭奉祝祭斎行

天皇陛下御一任に一度の重儀を表せ

宗像

毎月十五日発行
発行所
宗像大社
〒811-35 福岡県宗像郡玄海町
電話 0940-62-1314㈹
定価 一年送付料 1000円

神具・装束
結婚式場用品
株式会社
井筒
福岡市博多区東公園二-131-4(〒812)
電話 福岡市中央区油小路六条北入四丁目(〒810)
電話 京都(075)343-1343、343-1344、343-1345、343-1346
本店 福岡店

第三三四回
宗像士原町八波五月

人社歌会詠草

「平成の御大典」奉祝記念事業

氏子・崇敬者が捧げる

宗像大神への赤誠

「平成の御大典」の慶事 崇敬者各位から、宗像大神を奉祝して、当大社の氏子へへの敬神の念と御神徳發揚

の願いを込めた、多額の御

淨財の奉納があり、当大社では御奉納いた各々の赤

修復並びに調度の新調、本殿神前の大神奉納台及び神樂舞

縁台の新規製作 大輪八旗

の新調と一対の記念碑建立

の御大典奉祝事業を行い、この事業に淨財を充てさせ

て戴いた。

三輪は当大社の赤誠

大祭に際し、海上神幸の「みあれ祭」また陸上神幸に於て、沖・中・辺三宮の御祭

神の神璽を奉遷する神輿で

ある。從来の輦台は「昭和

の大祭奉祝する記念事業

の御造営」を記念して謹製

され、総黒漆塗 金箔金具、錦絣の壯麗なものであつた

が参加、試合に先立ち本殿

前に整列してお祓いを受け

たのち、花田支部長の玉串

奉奠に合わせて拝礼、正々

堂々の対戦を蒸氣大神に誓つ

た。試合は四バードに分かれ

て進行され、各選手達は日

頃の稽古で鍛錬した技と氣

力を遺憾なく發揮せんもの

と、袈裟の掛声と共に砂を

撒く。試合は四バードに分かれ

て行われ、各選手達は日

頃の稽古で鍛錬した技と氣

力を遺憾なく發揮せんもの

と、袈裟の掛声と共に砂を

撒く。試合は四バードに分かれ

宗像大社歌会俳句作品集(三三)

若松井手清隆
阿蘇に仰ぐ噴煙初紅葉

藤沢井上玄洋

福間森清

津屋崎 西住喜二老

名古屋 小田 喜一

福間 広渡一寿軒

蜀國中央
力九
玄風

福間二宮未子

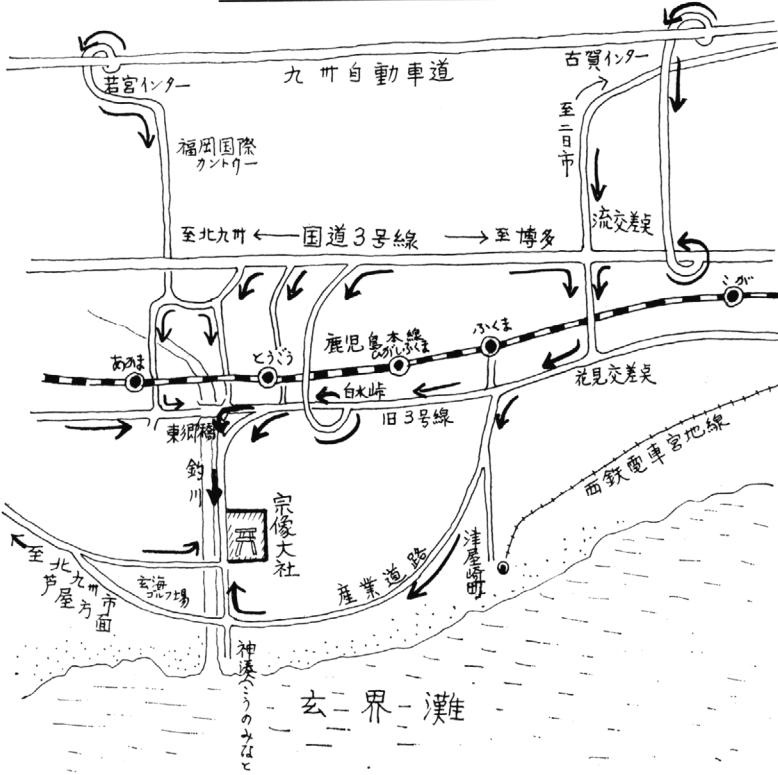
いとも前り来る枯葉秋日

紅葉もつれ飛ぶ蝶村豊か

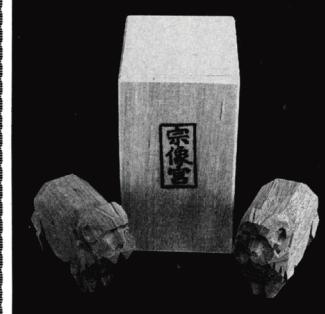
冬や竹伐る山の鉈の音

日濃し出て大いなる岩底

宗像大社正月参拝案内図



宗像大社辺津宮境内図



正月社頭授与の神符・守札 縁起守・諸祈願祭の紹介	
◆交通安全守	大型自動車用から自転車用迄と致しております。
◆初穂料	初穂料一体、一、〇〇〇
◆家庭	田から三〇〇田迄 事務所神殿用神札・ 神宮大麻・宗像大社神符等 授与致しております。
◆身体用守	初穂料一体、一、五〇〇 から三〇〇田まで
◆開運厄除・学業成就・無病息災・旅行安全等の守札を授与致しております。	縁結初穂料一体、一、〇〇〇 田から三〇〇田迄
◆縁起守	破魔矢・鏑矢・福迎・縁起守・千支土鉢・千支

車両交通安全祈願
典場所 祈願殿
（大駐車場前建物）
五、○○○円
典料〔後つき〕
六、○○○円
・大軌車 特殊車
七、○○○円
・普通車・軽自動車
八、○○○円
・自動二輪車
三、○○○円
授与品 御手本
一、玉串御幣一本、お
袋を授与致します

上行個の典○し
※団体祭典台に申までの都に申業務に申
※会社祭典上安殿祭典○
※業務祭典○納願別祈
※酒一幣一
※商壳輔典祭典家庭別祈
付五供ニス

車輛交通安全手引頼
場所 桐原殿
料 原則として單一付五〇〇〇円
付五〇〇〇円、印神算、海
安全・商売繁昌・海
全・大漁祈願祭等
場所 本殿又は儀式
料 一件に付〇〇〇円以上志しにて神
本、祭り暦一部・神
与品 一件に付特
本を授与致します。
・個人の家内安全・
繁昌・交通安全(車
場所 儀式殿
料 一人又は一件に付〇〇〇円以上志し

（授与品）一人又是一件
に付、特別祈禱神符等
玉串幣幣一本、祭り袋一部、
お供物一袋を授与致
します。
※個人の無病無災、学業成績
就職、厄年、厄除、初宮
心願成就祈願祭等
祭典場所 儀式殿
祭典料 一人又は一件に
付、五〇〇〇円以上志
し付（授与品）一人又は一件
に付、御守札一体、玉串
御幣一本、祭り袋一部
お供物袋を授与致しま
す。